

リアルタイム防災情報提供

坂東市 情報メール一斉配信サービス

市では、災害情報やイベント情報などのお知らせを住民の方へメール配信サービスを行っています。

配信される情報 ■災害情報等 ■イベント・行政情報 ■市長コラム ■子育て情報 など

パソコン・スマホから <http://www.city.bando.lg.jp/page/page001146.html>



国土交通省「川の防災情報」

全国の河川の「雨量」「水位」「河川予警報」等の情報をリアルタイムで提供することにより、近年頻発している大雨・集中豪雨による水害・水難時の迅速・的確な避難等が可能になります。

パソコン・スマホから <http://www.river.go.jp/>



茨城県「防災・危機管理ポータルサイト」

パソコン・スマホから <https://www.bousai.ibaraki.jp/>

※インターネット環境が無い方は、お問い合わせください。
坂東市役所 交通防災課 TEL:0297-21-2180 (直通)



防災ラジオについて

- 機能・特徴
- Jアラートや市の防災情報等が合成音声で流れます。
 - 平常時には、FM及びAMラジオとして使用できます。
 - FM及びAMラジオが流れている状態でも、配信があった際は、優先的に防災情報等が流れます。
 - 直近の放送に限り、何度でも聞き直すことができます。

- 緊急時の放送
- 国からのJアラート情報：緊急地震速報、気象等の特別警報、弾道ミサイル情報
 - 市からの情報：避難等に関する情報、防犯等に関する情報、行方不明者の情報、緊急性の高い情報、その他情報等

- お問い合わせ
- 坂東市役所 交通防災課
TEL:0297-21-2180 (直通)



ラジオ概要

寸法(本体のみ)

幅18cm、高さ11cm
奥行き4cm、重さ520g

電源

ACアダプター及び単三
アルカリ乾電池3本を使用
【電池のみで約3日間使用可能】

定期試験放送

毎月1日(但し、1月を除く)
午後5時

災害時の問い合わせ先

- 火災・災害情報
茨城西南広域消防本部テレホンサービス
TEL:0280-47-1119
※火災メールの登録はこちら
<https://www.ibarakiseinan.or.jp/119/mail.html>



- 停電情報
東京電力パワーグリッド(株)
TEL:0120-995-007
※停電情報ホームページ
<http://teideninfo.tepco.co.jp/>



- 断水情報
坂東市水道課
TEL:0297-35-2114 (直通)

- 道路交通情報
日本道路交通情報センター
TEL:050-3369-6608 (茨城情報)
TEL:#8011 (スマートフォン・携帯電話専用の短縮ダイヤル)

- その他
坂東市役所
TEL:代表 0297-35-2121/0280-88-0111

本書の使い方

本書は、いずれ起こるかもしれない様々な災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、常日ごろから内容に目を通し理解を深めていきましょう。

〈本書の特徴〉 本書は、災害時に持ち運び出来るように冊子型として作成しました。通常時は、地図部分や「わが家の防災メモ」ページを開いた状態で、壁などにピン留めして掲示するか、ヒモなどでつるし身近に置き、緊急時に持ち出してご活用ください。



発行：坂東市役所 〒306-0692 茨城県坂東市岩井4365番地

TEL：代表 0297-35-2121/0280-88-0111

制作：株式会社ゼンリン つくば営業所 TEL：029-855-5717

作成：平成31年3月

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、25千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平29情使、第444-791号)
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用した。(承認番号 平29情使、第445-437号)
この地図は坂東市長の承認を得て、測量法第44条第2項及び第3項に基づき同市発行の1/2,500都市計画図を使用して調製したものである。(坂都都発第168号)

坂東市

総合

防災 マップ



防災訓練 車両からの人命救助訓練



防災訓練 初期消火訓練



被災地での
給水活動

ばんどうし
坂東市
BANDO CITY

市民の皆様へ

豪雨や大震災が起きても対処できるように、
日ごろからしっかりとした防災意識を持ち、対策を考えておく必要があります。
この「坂東市総合防災マップ」は、以下の項目ごとに災害への備えや心構えを、
イラストや地図などでより分かりやすく説明してあります。

風水害対策 地震対策 火災対策 防災マップ わが家の防災対策

市民の皆様の安全を守るためには、行政機関の対策だけでは、決して十分とは言えません。
皆様一人ひとりが、自助、共助による防災の重要性を認識し、
各種防災活動に積極的に参加していただくとともに、日頃からの備えが大切です。
この防災マップを家庭の目のつくところに常備していただき、
ぜひ、防災について相談していただく際の参考にしてください。

坂東市

目次

市民の皆様へ・目次	1	坂東市全体図	9・10
風水害対策(災害の種類)	2～4	坂東市防災マップ①～⑧	11～26
地震対策	5	わが家の防災対策	27
火災対策	6	災害時備蓄品	28
避難所一覧	7	マイ・タイムライン	29
揺れやすさマップ	8	わが家の防災メモ	30

風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力し、早めの行動を心がけましょう。



大雨情報キャッチ

こんなときのわが家の安全対策。

大雨注意報	大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合。
大雨警報	大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合。

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。
気象庁にて、地震により、地盤の緩みを考慮し、揺れの大きかった市町村については、大雨警報・注意報の発表基準(土壌雨量指数基準)を暫定的に引き下げて運用する場合があります。

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。がけ崩れが起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～25未満	25以上～
風に向かって歩きにくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

台風の 大きさと 強さの目安	大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
	大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
	超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
			猛烈な	54m/s以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
発生の予想は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意をする。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 市や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を最低でも3日分、できれば1週間分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い所へ移動する。
- 非常持ち出し品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに
気象情報には、
注意して
おきましょう!



竜巻から身を守る

竜巻とはこのような現象です

- 竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです。
- ろうと状や柱状の雲を伴っています。
- 台風、寒冷前線、低気圧などに伴って発生します。
- 短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします。被害は、長さ数km、幅数十～数百mの狭い範囲に集中します。
- 移動スピードが非常に速い場合があります。過去に発生した渦巻の中には、時速約90km(秒速25m)で移動したものもあります。

竜巻の発生時に、よく現れる特徴

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

速やかに情報を把握するために

- テレビやラジオの気象情報や市からの防災ラジオなどで提供される防災情報に注意して下さい!



風水害対策（災害の種類）

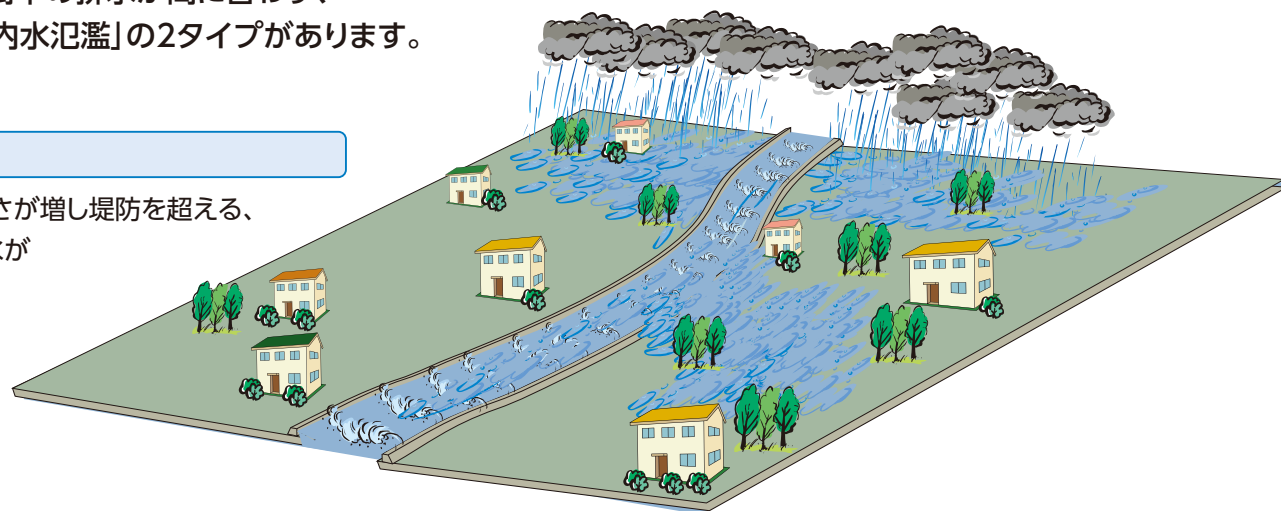
大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

川の氾濫等

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。



内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれず溜まって起きる洪水。的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要。



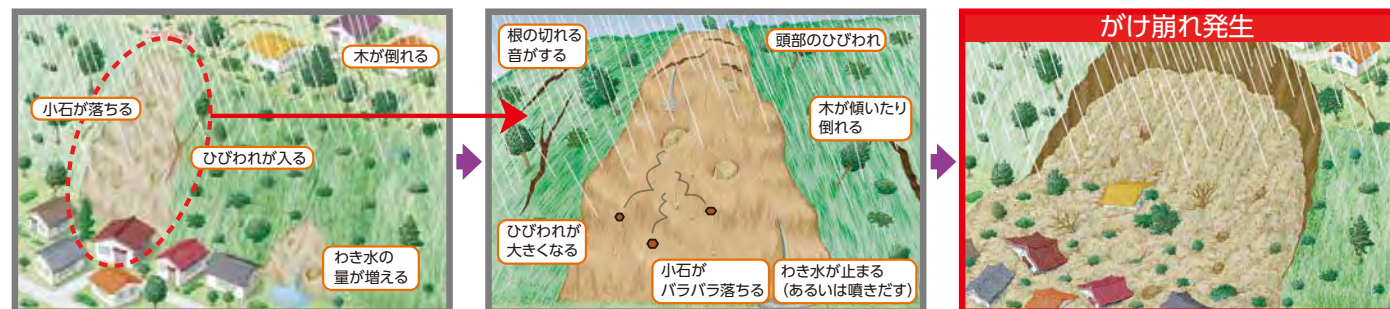
土砂災害

土砂災害警戒情報が発表されてなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、市役所などの関係機関に連絡してください。日ごろから危険箇所や避難場所・避難経路を確認しておくことも重要です。

※下記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



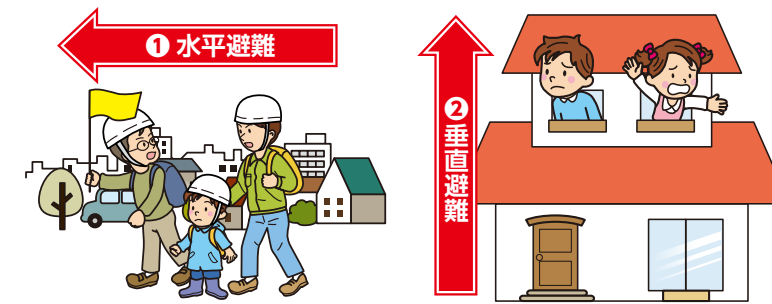
地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土壌量が大きいので、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



避難行動のポイント

1. 左ページの川の氾濫や土砂災害の事象に注意し、早めの避難をする。
2. がけ崩れの起こる方向に対して横方向に避難（水平避難）する。
3. 夜中や大雨の中など外へ避難を行うのが危険と感じる時は、自宅2階以上の山やがけの反対側の部屋など堅固な建物の上階へ避難（垂直避難）することも考慮しましょう。
4. 記録的短時間大雨情報が発表された場合は、早めに避難を行う。
5. 土砂災害警戒情報が発表された場合は、すぐに避難を行う。



避難に関する情報の確認

市からの避難に関する情報は、避難する時期を判断するために重要な情報です。情報の内容や入手方法を事前に確認しておきましょう。

市から伝達される避難に関する情報の種類

警戒レベル	行動を促す情報	住民が取るべき行動
高 5	緊急安全確保	災害発生又は切迫している状況。 命の危険、直ちに安全確保。
~~~~~＜警戒レベル4までに必ず避難＞~~~~~		
4	避難指示	災害のおそれが高い状況。 危険な場所から全員避難。
3	高齢者等避難	災害のおそれあり。 危険な場所から高齢者等は避難。

※土砂災害警戒情報（大雨警報（土砂災害））が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が非常に高まった時に発表される防災情報が発表された場合は、避難指示を発令いたします。

### 情報の入手方法

市からは避難に関する情報が様々な方法で発信されます（防災ラジオ・フェイスブック・市ホームページ・情報メール一斉配信サービス（※裏表紙参照）など）。事前に伝達方法を確認しておきましょう。

### 過去の水害について

#### カスリーン台風による大雨と利根川の洪水

昭和22年9月、日本列島に停滞していた前線が台風（カスリーン台風）の接近により活発化し、関東地方一帯に豪雨をもたらしました。利根川でも9月15日未明から16日にかけて約7.5m（栗橋）もの急激な水位の上昇を示しました。

#### 鶴戸の堤防決壊と氾濫

坂東市（旧中川村）では、おりから工事中だった鶴戸付近（現在の鶴戸沼排水機場付近）の堤防で決壊のおそれがあったため、懸命な水防活動にあたりましたが、夜10時40分、ついに堤防が約250mにわたって決壊し、長須地区及び中川地区の一部が、集落の屋根のみを残して水没する大災害となりました。決壊の直前、付近の住民は堤防に駆け上がり難を逃れましたが、残念ながら一人の少年が濁流に飲まれ、行方不明となってしまいました。

## 雪害対策

### 家庭の雪対策

- 物流の混乱に備え、水・食料などの備蓄（できれば7日分）
- 停電に備えて、暖房対策（使い捨てカイロなど）、予備電池、懐中電灯、携帯ラジオなど
- 断水に備えて、水をためておく
- 積雪・凍結に備え、通路や階段など滑りやすい場所に凍結防止剤などを事前散布
- スコップ、凍結防止剤などの除雪用具
- 不要不急の外出は極力控える、どうしても外出する場合は、平時の3倍の時間がかかるとして、ゆとりをみて出かける
- 早期除雪は自助と共助（隣近所の人たち）で力を合わせて行う



### 凍結や滑りやすい場所～こんなところにも注意！

日陰の坂道、日陰の歩道

橋、歩道橋、階段

マンホール

人通りの少ない裏通り

雪よせ路肩と歩道の間

車庫、自転車置き場

など

# 地震対策

## 地震発生! そんなときどうする

### 地震発生時の時間経過別行動マニュアル

#### 地震発生

1~2分

#### 最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 (手近な座布団などで頭を保護)
- すばやく火の確認 ガスの元栓、コンセント、ストーブ
- 室内に居ることが危険だと判断した場合、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する

#### 揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火。※初期消火の限界は炎が天井に燃え移る前まで。
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根がわら・ブロック塀・自動販売機等要注意

#### みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかけよう
- 隣近所で助け合う 要配慮者の安全確保
- 行方不明者はいないか ●ケガ人はいないか
- 初期消火 ●消火器を使う
- 座布団、毛布、大きめのタオル等の活用
- 漏電・ガス漏れに注意 ガスの元栓・電気のブレーカーを切る
- 余震に注意
- バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく (ただし、乳幼児のいる家庭では浴槽への転落防止のため工夫しましょう)

#### ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる ●救出・救護 ●防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように ●避難時に車は原則として使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する

#### 協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 最低でも3日間、できれば1週間分備蓄しておく
- 災害情報・被害情報の収集 ●無理はしない ●風呂水をため置きしておく
- 助け合いの心が大切 ●こわれた家に入らない

3分

5分

10分

数時間

3日

### 屋内にいた場合

#### 家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者、避難行動要支援者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

#### デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

#### 劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてず冷静な行動をとる。

#### 集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベータは絶対使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

### 屋外にいた場合

#### 路上

- その場に立ち止まらず、周りの危険物に注意し、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などのないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

#### 車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、安全を確認して道路の左側に停車する。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

#### 海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

#### 電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

# 火災対策

## 火災発生! そんなときどうする

### 初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を大声で知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1

#### 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければ、やかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

2

#### 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。初期消火の限度は炎が天井に届くまで。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなどの手近なものを活用する。

#### 火元別 初期消火の コツ

##### 油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。すぐにガス栓を閉める。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

##### 風呂場

風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

##### 石油ストーブ

真上から一気に水をかけて消火(斜めにかけると石油が飛び散って危険)。石油が流れてひろがっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。

##### 電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカも切る)消火を。

##### 衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。

##### カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃えひろがったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

3

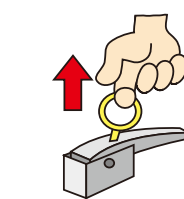
#### 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。
- 一酸化炭素などの有毒ガスを含んだ煙を吸い込まないように低い姿勢でマスク・タオル等で口をふさいで逃げる。

### 消火器の使い方

#### 消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指を  
かけ上に引き抜く。



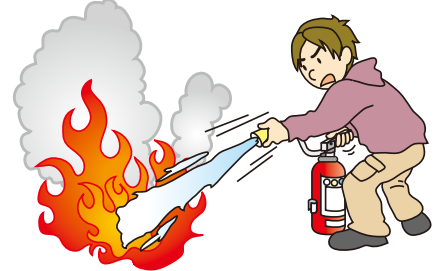
ホースをはずして  
火元に向ける。



レバーを強く  
握って噴射する。

#### かまえ方

- 風上に回り風上から消す。火災にはまともに正対しないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。



### 火災警報器の設置義務化

# 火災予防 が一番!!

消防法の改正により、  
住宅用火災警報器の  
設置が義務付けられました。

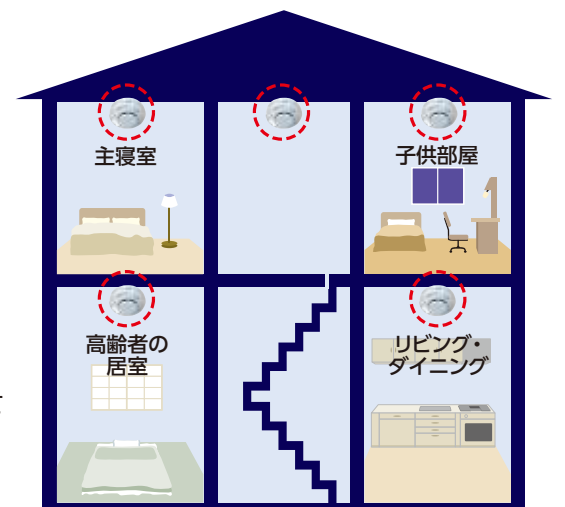
- 新築の場合は、平成18年6月1日から
- 既存の住宅は、平成21年6月2から



警報器

#### 火災警報器の設置が義務づけられている場所

- 寝室…すべての寝室(子供部屋や高齢者の居室など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所…義務ではありませんが、設置を推奨します。



住宅内取付位置図

# 避難所一覧

避難所及び避難場所					
No	施設・場所名	水害	住所	連絡先	掲載頁・座標
①	岩井第一小学校	!	坂東市岩井2029-1	0297-35-0019	P18 H-4
②	岩井第二小学校		坂東市辺田1172-7	0297-35-6524	P23 A-1
③	弓馬田小学校		坂東市馬立30-1	0297-35-1351	P19 A-3
④	飯島小学校	!	坂東市幸田新田1468-1	0297-35-3764	P19 D-3
⑤	神大実小学校		坂東市猫実805	0297-39-2311	P24 E-1
⑥	七郷小学校		坂東市矢作87-1	0297-38-2436	P23 B-6
⑦	中川小学校	!	坂東市小山108	0297-38-2449	P22 G-4
⑧	長須小学校		坂東市長須1243	0297-35-5518	P17 D-4
⑨	七重小学校		坂東市借宿683-2	0297-34-2301	P14 F-6
⑩	岩井中学校	!	坂東市上出島1053	0297-34-3141	P18 G-3
⑪	東中学校		坂東市猫実1093-2	0297-39-2313	P20 E-6
⑫	南中学校		坂東市矢作326	0297-38-2602	P23 B-6
⑬	岩井公民館	!	坂東市岩井3108	0297-35-8800	P18 G-5
⑭	飯島コミュニティセンターいなほの里		坂東市大口新田50	0297-39-2988	P20 F-6
⑮	馬立コミュニティセンターふれあい館		坂東市馬立680	0297-35-7922	P19 B-3
⑯	新町コミュニティセンターホロニック	!	坂東市岩井4624-8	0297-35-0192	P18 H-6
⑰	荳打コミュニティセンター芽吹の郷		坂東市荳打711-1	0297-38-0079	P25 C-2
⑱	公民館神大実分館		坂東市猫実794-2	0297-30-1800	P24 E-1
⑲	市民音楽ホール(ベルフォーレ)	!	坂東市岩井5082	0297-36-1100	P22 H-1
⑳	岩井球場		坂東市鶴戸255	0297-35-1716	P18 G-5
㉑	総合体育館		坂東市岩井3086	0297-35-1711	P18 G-5
㉒	県立坂東清風高等学校	!	坂東市岩井4319-1	0297-35-1667	P19 A-6
㉓	岩井保健センター		坂東市弓田2145-1	0297-35-3121	P19 A-3
㉔	七郷コミュニティセンターみどりのさと		坂東市矢作90-1	0297-38-2101	P23 B-6
㉕	猿島幼稚園	!	坂東市沓掛6083-3	0297-44-3221	P15 C-4
㉖	放課後児童クラブ生子館		坂東市生子2743-1	0280-88-0821	P14 E-3
㉗	生子菅小学校		坂東市生子2219	0280-88-0001	P14 E-3
㉘	逆井山小学校	!	坂東市逆井1825-30	0280-88-1527	P12 F-4
㉙	沓掛小学校		坂東市沓掛3775	0297-44-2016	P15 B-3
㉚	内野山小学校		坂東市内野山849	0297-44-3159	P15 D-6
㉛	猿島中学校	!	坂東市山2807	0280-88-0907, 0297-44-3211	P14 H-1
㉜	猿島公民館		坂東市山2730	0280-88-0835, 0297-44-3154	P14 H-1
㉝	猿島体育館		坂東市山2724	0280-88-0596	P14 H-1
㉞	猿島武道館	!	坂東市山2724	0280-88-0596	P14 H-1
㉟	県立坂東清風高等学校(農場)		坂東市逆井2833-115	0297-35-1667	P11 C-5
㊱	猿島保健センター		坂東市山2717-1	0280-88-0100, 0297-44-3907	P14 H-1
㊲	生子菅地区農業構造改善センター	!	坂東市生子新田879-1	0280-88-0900	P14 E-3
㊳	西村公民館		坂東市沓掛2401	0297-44-2934	P15 A-3
㊴					

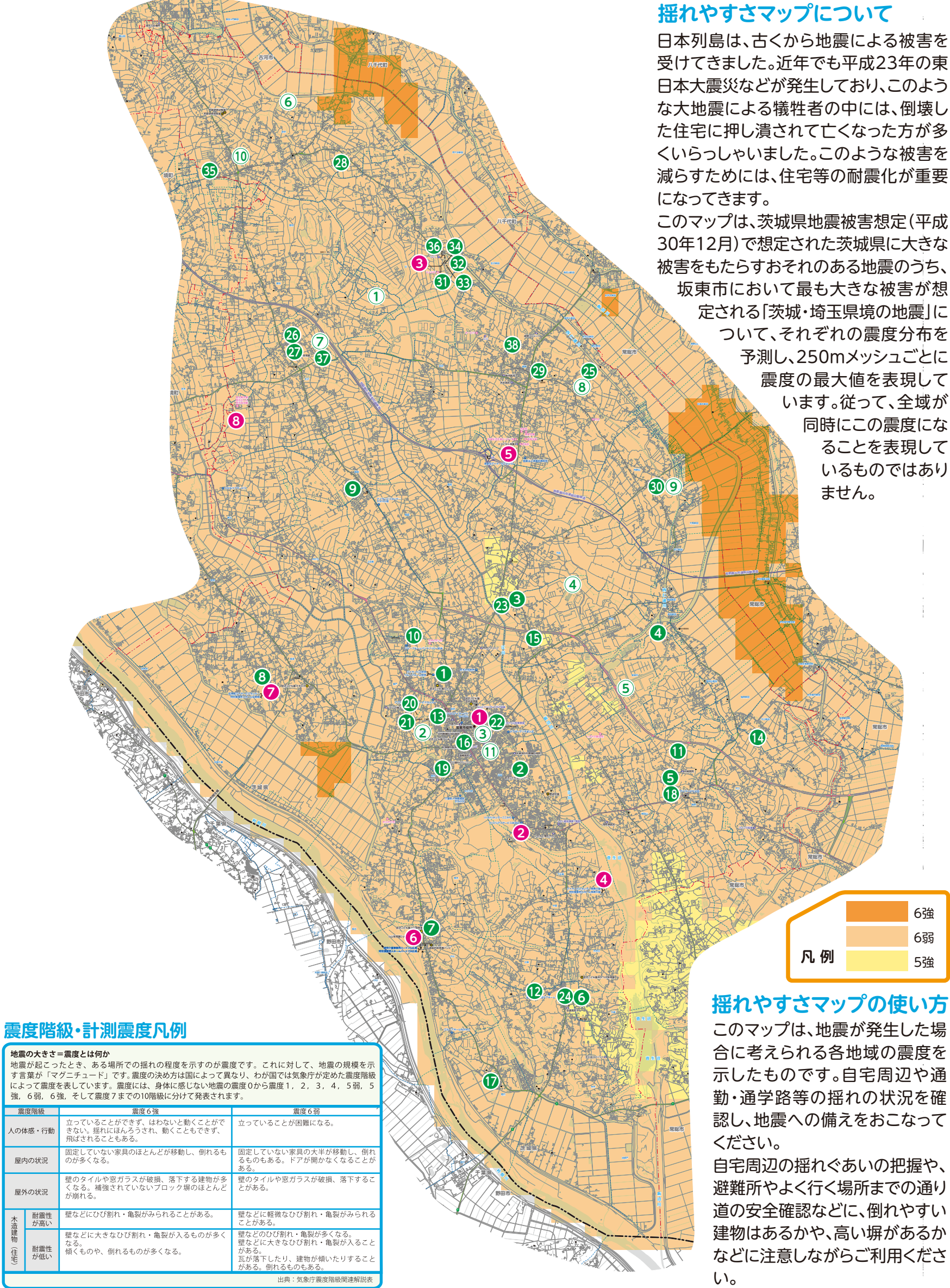
避難場所					
No	施設・場所名	水害	住所	連絡先	掲載頁・座標
①	猿島球場	!	坂東市生子新田804	0280-88-1160	P14 F-2
②	八坂公園		坂東市岩井3162-3		P18 G-6
③	中央児童公園		坂東市岩井4325-1		P19 A-6
④	馬立運動公園	!	坂東市馬立1185		P19 C-2
⑤	幸神平公園		坂東市幸神平34		P19 D-5
⑥	逆井城跡公園		坂東市逆井1262	0280-88-7766	P11 D-3
⑦	生子運動公園	!	坂東市生子新田884-1		P14 E-3
⑧	沓掛球場		坂東市沓掛6083		P15 C-4
⑨	内野山運動公園		坂東市内野山854-1		P15 D-6
⑩	前山公園	!	坂東市逆井2845-3		P11 C-4
⑪	ぼうけん広場		坂東市辺田1516-60		P19 A-6
⑫					

福祉避難所					
No	施設・場所名	水害	住所	連絡先	掲載頁・座標
①	児童福祉センター	!	坂東市岩井4326-1	0297-35-8844	P19 A-5
②	岩井福祉センター「夢積館」		坂東市辺田48	0297-36-1901	P23 A-2
③	猿島福祉センター「ほほえみ」		坂東市山2721	0297-44-2943, 0280-88-1000	P14 H-1
④	特別養護老人ホーム 長寿の里	!	坂東市中里1213	0297-36-8080	P23 C-3
⑤	特別養護老人ホーム 恵愛荘		坂東市沓掛337	0297-44-3320	P15 A-5
⑥	特別養護老人ホーム ハートフル広輪		坂東市小山258	0297-38-1111	P22 G-5
⑦	特別養護老人ホーム 延寿館	!	坂東市長須1188-2	0297-35-3715	P17 D-5
⑧	特別養護老人ホーム さしまの家		坂東市生子1630-1	0280-33-6400	P13 C-4
⑨					

注)水 害: 上記で水害の欄に 印がある避難所は、水害の場合において浸水する恐れがあり、避難所として開設できない場合があります。

注)福祉避難所:福祉避難所は、高齢者や体が不自由な方など「要配慮者」「避難行動要支援者」が優先となります。

# 揺れやすさマップ



# わが家の防災対策

## 家の中の安全対策

1

### 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

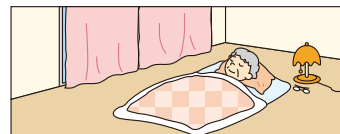
部屋が幾つもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。



2

### 寝室、子供やお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性があります。



3

### 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



4

### 安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

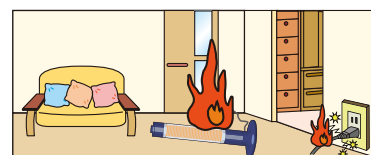
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



5

### 電気火災発生の防止

大地震が発生した際には、多数の火災が発生し、多くの人が命や財産を失っています。地震火災の原因の多くは電気が関連しており、電気機器等(電気ストーブ、電気コンロ等)の転倒による出火や、電気復旧時における通電火災(破損した電気コードのショートによる出火等)があります。このような電気火災を防ぐため、感震ブレーカー等を設置しましょう。

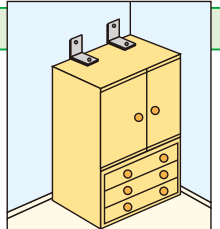


**感震ブレーカー**  
あらかじめ設定した震度以上の地震が発生した場合に、自動的に電気の供給を遮断しますので、電気による出火防止に効果的です。

## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

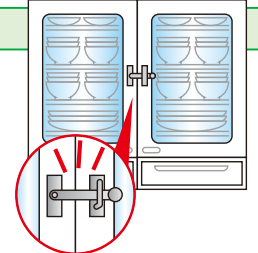
### タンス・本棚

L字家具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



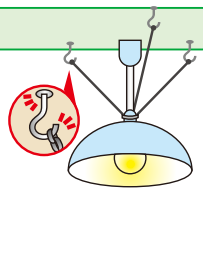
### 食器棚

L字家具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下に、軽い食器は上の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



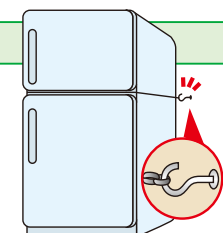
### 照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



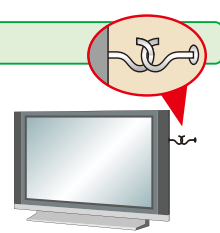
### 冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



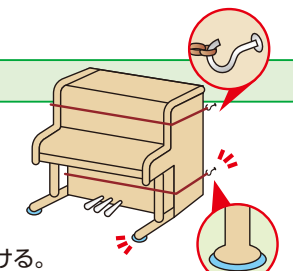
### テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



### ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



## 家の周囲の安全対策

### 屋根

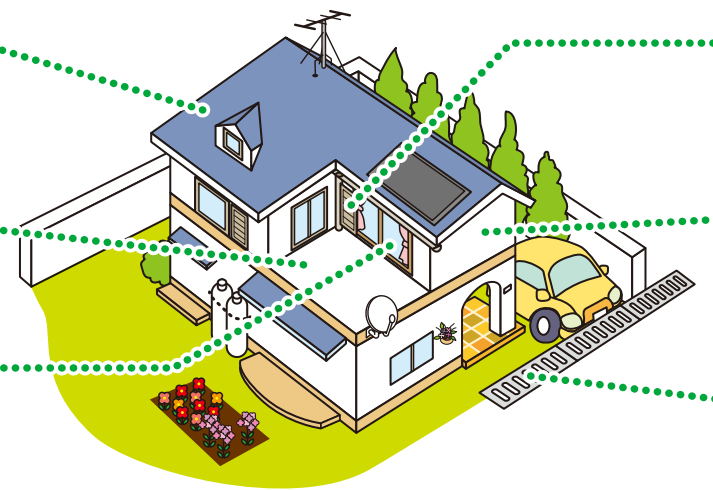
不安定な屋根のアンテナの補強。瓦のひび、割れ、ずれ、はがれがないか。トタンのめくれ、はがれはないか。

### ベランダ

鉢植えや物干し竿など飛散の可能性が高いものは室内へ。

### 窓ガラス

ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。強風による飛来物などに備え、飛散防止フィルムを貼る、外側から板でふさぐなどの処置を。



### 雨どい・雨戸

雨どいに落ち葉や砂が詰まっていないか。継ぎ目の外れや塗装のはがれ、腐りはないか。雨戸にガタツキやゆるみはないか。

### 外壁

モルタルの壁に亀裂はないか。板壁に腐りや浮きはないか。プロパンガスのボンベは固定されているか。

### 側溝

側溝が詰まると、道路冠水や浸水の原因になります。日頃からの清掃にご協力をお願いします。

# 災害時備蓄品

## 非常持ち出し品および備蓄品

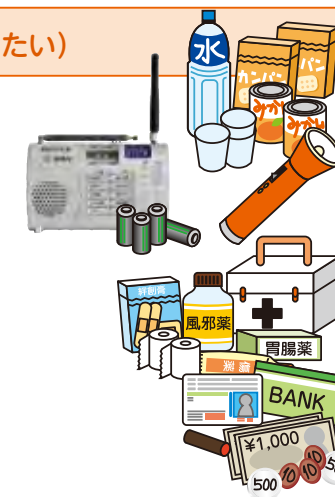
避難するときに最初に持ち出すのが「非常持ち出し品」です。

災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自給自足するための物資が「備蓄品」です。

以下は一例です。とくに非常持ち出し品は、持って逃げられる量にしましょう。

### 非常持ち出し品 (とっさの場合に持ち出せるようにリュックサックにつめておきたい)

- |                                   |                                    |                                       |
|-----------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 現金       | <input type="checkbox"/> 携帯用カイロ    | <input type="checkbox"/> レジャーシート      |
| <input type="checkbox"/> 保険証      | <input type="checkbox"/> 預金通帳      | <input type="checkbox"/> 印鑑           |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ    | <input type="checkbox"/> 免許証       | <input type="checkbox"/> 懐中電灯         |
| <input type="checkbox"/> 厚手の手袋    | <input type="checkbox"/> 予備の乾電池    | <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん  |
| <input type="checkbox"/> ライター・マッチ | <input type="checkbox"/> ナイフ       | <input type="checkbox"/> 缶切り          |
| <input type="checkbox"/> 救急箱      | <input type="checkbox"/> 処方箋の控え    | <input type="checkbox"/> 胃腸薬・便秘薬・持病の薬 |
| <input type="checkbox"/> 生理用品     | <input type="checkbox"/> 乾パン       | <input type="checkbox"/> 飲料水          |
| <input type="checkbox"/> 栄養補助食品   | <input type="checkbox"/> アメ・チョコレート | <input type="checkbox"/> 防寒用ジャケット・雨具  |
| <input type="checkbox"/> 下着・靴下    | <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン   |                                       |



### 備蓄品 (少なくとも3日は自力で生活できるように準備)

- |                                               |                                      |
|-----------------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 食品(レトルト食品、アルファ米、缶詰等) | <input type="checkbox"/> カセットコンロ     |
| <input type="checkbox"/> 飲料水(一人1日3リットル程度)     | <input type="checkbox"/> ラップフィルム     |
| <input type="checkbox"/> 給水用ポリタンク             | <input type="checkbox"/> 水のいらないシャンプー |
| <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー・ウエットティッシュ  | <input type="checkbox"/> 工具セット       |
| <input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ・割り箸          |                                      |
| <input type="checkbox"/> ビニール袋                |                                      |



## ローリングストック法

### 備蓄の新しい方法

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法をローリングストック法と言います。

ローリングストック法のポイントは、日常生活で消費しながら備蓄することです。食料等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度が保たれ、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることができます。

## ローリングストックのイメージ

食べ物や日用品を少し多めに購入、日常の中で消費



### 乳幼児・高齢者がいる家庭

オムツ

粉ミルク

常備薬

### 女性の場合

生理用品

詳しい備蓄品の参考例は、  
防災首都圏ネット(9都県市  
ホームページ)を御覧ください。  
<http://www.9tokenshi-bousai.jp/>



※インターネット環境が無い方は、お問い合わせください。  
坂東市役所 交通防災課  
TEL:0297-21-2180(直通)

# マイ・タイムライン

坂東市

地区

家

利根川・鬼怒川・西仁連川・飯沼川

マイ・タイムライン

作成年月日

年

月

日

行政情報

黒:気象・水象情報  
青:河川事務所  
緑:坂東市

3日前

●台風予報  
●台風に関する気象情報(随時)

2日前

◆大雨注意報・洪水注意報  
●台風に関する今後の見通し

1日前

◆大雨警報・洪水警報  
上流域(日光等)での大雨特別警報

半日前

水防団待機水位到達  
氾濫注意水位到達  
洪水予報(氾濫注意情報)発表  
●要支援者施設に洪水予報(氾濫注意情報)を伝達  
●避難所の開設  
警戒レベル3  
高齢者等避難を発令  
◆大雨特別警報(緊急速報メール、防災ラジオ)  
◆暴風警報

-5h

避難判断水位到達  
洪水予報(氾濫警戒情報)発表  
警戒レベル4  
避難指示を発令

-3h

氾濫危険水位到達  
洪水予報(氾濫危険情報)発表  
緊急速報メール、防災ラジオ(河川氾濫のおそれがある情報)

0h

氾濫が発生  
洪水予報(氾濫発生情報)  
緊急速報メール、防災ラジオ(氾濫が発生した情報)

住民等(例)

●テレビの天気予報を注意  
●家族全員の今後の予定を確認  
●マイ・タイムラインを確認  
●防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ)  
●1週間分の薬を病院に受け取りに行く  
●家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認  
●テレビ、インターネット、情報メール、防災ラジオ等で雨や川の様子に注意  
●家族全員の今後の予定を再確認  
●携帯電話の充電  
●防災マップで避難場所、避難手段を確認  
●隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話  
●携帯電話の充電  
●川の水位をインターネットで確認  
●通行止め情報がないかインターネットで確認  
●隣町への避難の開始を判断  
●情報メール等で高齢者等避難の受信  
●移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断  
●隣町への避難完了  
●市内の高台への避難の開始を判断  
●川の水位をインターネットで確認  
●テレビで洪水予報の確認  
●情報メールで避難指示を受信  
●市内の指定避難所への避難を判断  
●川の水位をインターネットで確認  
●市内の高台への避難を完了  
●市内の指定避難所への避難を完了  
●テレビで洪水予報の確認  
●緊急速報メールを受信  
●自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保  
●テレビで洪水予報の確認  
●緊急速報メールを受信

作成のポイント

遠出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。  
事前に準備しておきましょう。  
風でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすませておきましょう。  
移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。  
避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。  
避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。  
移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災ラジオや広報車などでも情報は提供されています。  
避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。  
必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。

雨が強くなる前にガラスなどの破損をすませておく時期

水位等の情報を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保する時期

わが家の防災行動予定

# わが家の防災メモ

非常時に連絡しなければならない方などをメモしておくページです。  
事前に電話番号などを記入しておくようにしておきましょう。

住所					
氏名				電話	

避難所	避難所			
	家族が離ればなれになった時の避難所			

家族の連絡先	氏名	電話(会社・学校)	住所	メモ 家族との関係など

親戚知人の連絡先	氏名	電話(会社・学校)	住所	メモ 家族との関係など

家族の救急用データ	氏名	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬	病歴

緊急連絡先	連絡先	電話	連絡先	電話

災害用伝言ダイヤルの使い方

災害用伝言ダイヤルとは?

NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

伝言の録音	171 - 1 - 0000-00-0000 (相手の電話番号)	伝言保存期間	録音してから48時間
伝言の再生	171 - 2 - 0000-00-0000 (自宅の電話番号)	伝言蓄積数	1電話番号あたり10伝言まで
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	一般電話(プッシュ回線、ダイヤル回線)、公衆電話、携帯電話(一部除く)等